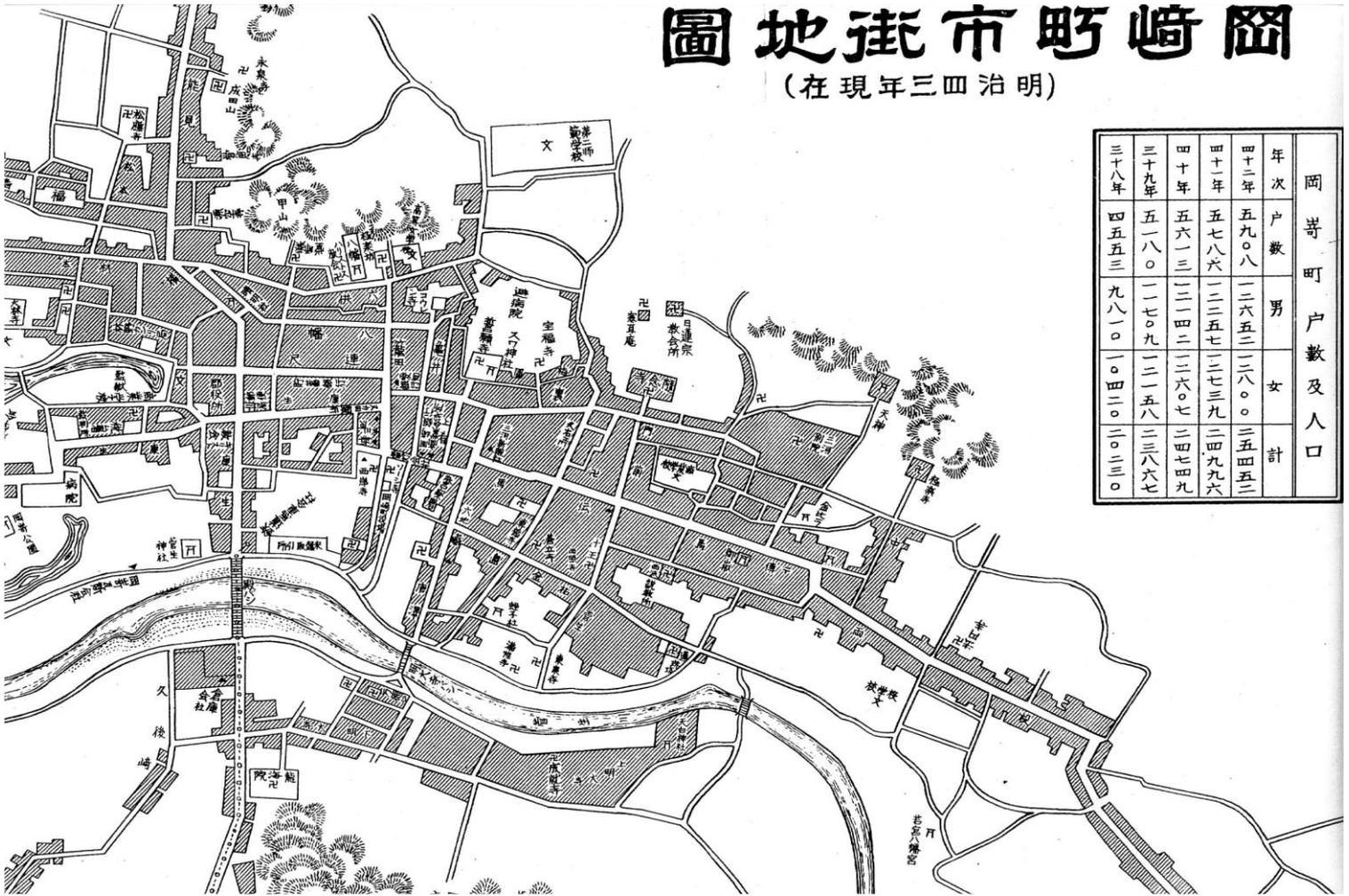


昔の岡崎市（岡崎町）地図

明治43年の岡崎町市街地図

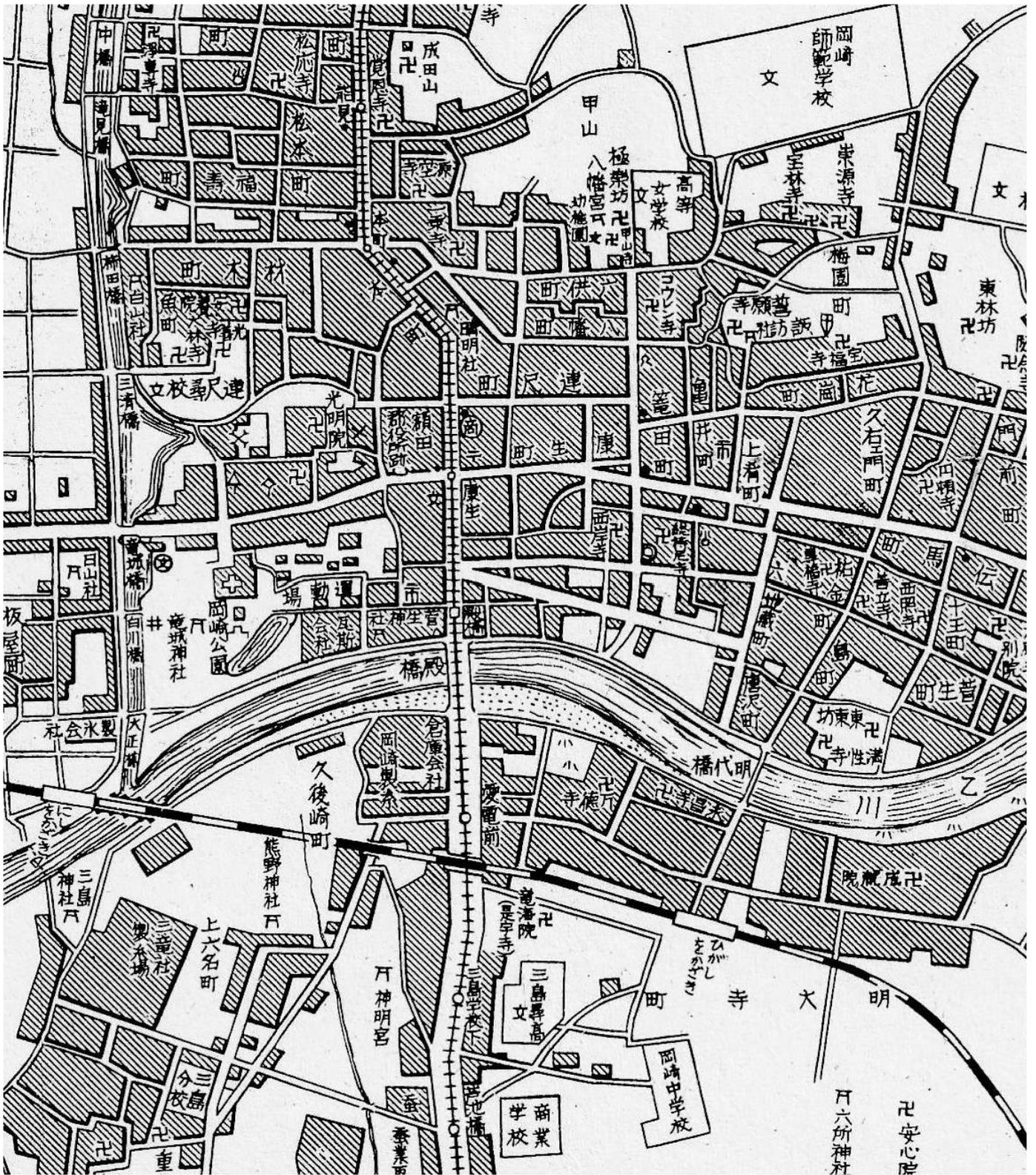


岡崎町		戸数及人口	
年次	戸数	男	女
三十八年	四五五三	九八〇	一〇四二〇
三十九年	五一八〇	一〇七〇九	一一一五八
四十年	五六一三	一一一四二	一二六〇七
四十一年	五七八六	一二二五七	一二七三九
四十二年	五九〇八	一二六五二	一二八〇〇
計		二五四九六	二四九六六

出典『岡崎戦災復興誌』昭和29年11月10日発行 岡崎市役所

- ・ 明治42年の岡崎町は戸数5,908戸、人口25,452人でした。
- ・ 殿橋北東角に鉄道馬車会社があり、鉄道馬車は殿橋が終点でした。
- ・ 菅生神社の西側には既に岡崎瓦斯会社がありました。
- ・ 現在の岡崎第一ホテル辺りには米穀取引所がありました。
- ・ 西岸寺の東には総持寺がありました。
- ・ 現在のNTT西日本ビルの場所に岡崎町役場がありました。
- ・ 現在の第2マルワビルの北辺りは道路の形状が三日月形をしていたため三日月町と呼ばれていました。
- ・ 現在の岡崎公園駐車場辺りは病院でした。
- ・ 康生交差点(北東角)に郵便局がありました。
- ・ 警察署は現在のNTTビルの南東にありました。
- ・ 康生交差点の北西(三井住友銀行)付近に額田郡役場がありました。
- ・ 現在の市民会館の場所に高等女学校がありました。
- ・ 材木町と八幡町の間に横町があり、花崗町は江戸時代より裏町という町名でした(伝馬の裏)。

大正 15 年の岡崎市中心部の地図



出典『岡崎戦災復興誌』昭和 29 年 11 月 10 日発行 岡崎市役所

- ・現在の市民会館の場所には岡崎高等女学校、附属小学校の場所には岡崎師範学校がありました。
- ・正保年間（17 世紀）からあった上肴町（宿場町の魚市場（座））が伝馬町近くにありました。
- ・市内電車が大樹寺まで延び、岡崎公園前は西岡崎という駅名で大正 13 年に愛電は東岡崎・熱田間が開通。
- ・西岸寺の東には総持尼寺があり、現在の N T T ビルの場所に岡崎市役所（○ 印）がありました。
- ・郵便局は康生交差点（北東角）にありました。
- ・現在の三菱 UFJ 銀行辺りに商工会議所がありました。

岡崎市復興計画図 (中心部)

昭和 20 年の終戦後、岡崎市の戦後復興事業は一宮市とともに愛知県が執行することとなり、愛知県岡崎戦災復興事務所が設置され、愛知県が土地区画整理と家屋の移転を主として行い、街路・上下水道・ガス管・公園・宅地などの移設・整備は市が担当しました。事業は昭和 21 年 (1946) 5 月から始まり、昭和 33 年 3 月 (1958) に完了しました。(斜線部分が戦災前にあった道路)



出典『岡崎戦災復興誌』昭和 29 年 11 月 10 日発行 岡崎市役所

- ・ 国道 1 号線は昭和 6 年にできました。
- ・ 殿橋以北の電車通りは戦後、殿橋北から本町まで西側を大幅に拡幅しました。
- ・ 東康生通りの道路は南側、伝馬通りは北側を戦後拡幅しました。
- ・ 中央緑道は西側を大幅に拡幅しました。
- ・ 包括支援センター前(北)、石倉質店前(北)の道路は戦後にできました。
- ・ 籠田公園は昭和 32 年 (1957) 4 月に開設されました。
- ・ 昭和 33 年 (1958) 4 月 10 日岡崎市戦災復興事業完成記念式典が挙行され「戦災復興之碑」が籠田公園に建立されました。